

令和4年度 農業経営者総合サポート事業 実績

1. 地域別 経営戦略会議開催数

地 域	桑名	四日市鈴鹿	津	松阪	伊勢	伊賀	紀州	計
開催数	3	4	3	5	3	4	2	24

2. 地域別 重点指導農業経営体数

地 域		桑名	四日市鈴鹿	津	松阪	伊勢	伊賀	紀州	計
重点指導農業経営体		13	21	15	12	14	13	7	95
うち経営戦略会議案件		6	11	5	10	4	9	3	48
内 訳	個人	7	12	9	4	9	11	3	55
	法人	5	9	5	1	4	1	4	29
	集落営農	1	0	1	7	1	1	0	11

3. 経営課題別の専門家等の伴走支援を実施した重点指導農業経営体数

		桑名	四日市鈴鹿	津	松阪	伊勢	伊賀	紀州	計
経営課題	法人化	2	4	2	5	0	2	0	15
	経営改善・診断	4	6	5	6	0	4	5	30
	経営継承・相続	4	4	1	0	1	4	1	15
	雇用・労務	1	0	0	1	3	0	0	5
	規模拡大・集積	0	0	0	0	0	0	0	0
	税務・財務	0	1	0	0	0	0	1	2
	販売拡大・販促	0	0	0	0	0	0	0	0
	新規就農	0	1	0	0	2	1	0	4
	その他	2	5	7	0	8	2	0	24
	計	13	21	15	12	14	13	7	95

うち士業別専門家派遣数 () 延べ数

		桑名	四日市鈴鹿	津	松阪	伊勢	伊賀	紀州	計
士業別	中小企業診断士	0	3(5)	2(4)	0	1(2)	3(5)	1(1)	11(18)
	社会保険労務士	1(3)	0	0	0	2(4)	0	0	3(7)
	税理士	0	1(1)	1(2)	1(1)	2(4)	0	2(3)	7(11)
	司法書士	0	2(4)	0	1(1)	0	1(1)	0	4(6)
	農業経営アドバイザー	5(6)	3(3)	1(3)	5(6)	0	2(3)	0	16(21)
	その他	0	0	0	0	0	1(1)	0	0
	計	6(9)	9(13)	4(9)	7(8)	5(8)	7(10)	3(4)	41(63)

経営体数:38

令和4年度 研修会開催実績

1 農業経営の事業承継を考える研修会 ～想い・技術を未来につなぐ～

農業の担い手の高齢化や農業就業人口の減少が進む中、産地の維持・発展を図るため、農業経営の円滑な継承に向け、必要な準備や行政の支援策等を紹介する研修会を開催しました。

日 時：令和4年7月14日（木）

場 所：津市久居アルスプラザ

及び 県地域庁舎会議室

講演会：「農業経営における事業承継のやり方」

講 師：農業界初の事業承継士 伊東悠太郎氏

参加者数 85名（うち農業経営者26名）

個別相談（4件）



2 農業経営法人化支援研修会 ～あなたの足跡を形に、そして永遠に～

県内の農業経営を持続的に発展させるための取組として、農業経営の法人化について検討あるいは興味をお持ちの農業経営者や集落営農組織を対象に、農業経営の法人化に係る目的やメリット・デメリットなどを法人化した、支援した経験から学ぶ研修会を開催しました。

日 時：令和4年8月8日（月）

場 所：津市久居アルスプラザ

及び 県地域庁舎会議室

講演会：「農業経営の法人化の目的と取り組み方法」

講 師：税理士法人トータルサポート

代表税理士 前川浩一 氏

取り組み事例紹介

（株）安保農園 代表取締役 安保祥一郎 氏

参加者数 74名（うち農業経営者23名）

個別相談会（3件）



3 インボイス制度研修会 ～集落営農組織編～

令和5年10月1日から、消費税の仕入税額控除の方式としてインボイス制度が開始されます。特に、集落営農組織に対し、インボイス制度の基本的な知識の習熟と具体的な準備と対応が行えるように研修会を開催しました。

日 時：令和4年10月20日（木）

場 所：津市久居アルスプラザ

及び 県地域庁舎会議室

講演会：～新たな税制導入に備えた準備を～

「集落営農組織のインボイス制度の
導入への対応」

講 師：山田会計事務所 山田 淳氏

参加者数 74名（うち農業経営者23名）

個別相談会（3件）



就農相談・就農状況報告書

期間：4年4月～5年3月

① 相談形態別相談件数

相談件数	電話	面接	手紙	Eメール	その他
75	9	65	0	1	0

② 相談者数（性別）年齢別

年齢	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～	不明	計
男	5	12	17	10	9	2	0	0	55
女	4	5	3	7	0	1	0	0	20
計	9	17	20	17	9	3	0	0	75

③ 相談者数（職業別）

会社員	自営業	学生	農業従事者	公務員	団体職員	パート・ アルバイト	無職	その他
30	6	20	2	4	2	5	6	0

④ 相談内容別相談件数

法人就職	独立経営	体験・研修	経営継承	その他
24	42	3	2	4

⑤ 希望する作物

稲作	麦類	豆・いも 雑穀等	施設野菜	露地野菜	花・ 観葉植物	茶・たば こ等	果樹	酪農
6	0	1	10	4	0	0	2	0
肉用牛	養豚	採卵鶏	ブロイラー	その他	未定			
1	0	0	0	1	50			

⑥ 就農希望地

決定	不明・未定
11	64

⑦ 受けた相談の内容（件数）

農地	住居・ 施設	研修	自治体受入 支援	資金	農業法人 等求人	雇用就農者か らの相談	その他
4	0	4	6	2	4	0	55

⑧ 就農者数（人）

新規参入者 （新たに経営資源を獲得し、農業を始めた者）	2	計
農業法人等就農者 （農業法人等にパートまたは正社員の形態で就業を開始した者）	2	7
研修開始者数 （新規参入希望の研修生のこと）	3	

※ 対象は、農業経営相談所の相談活動を通じて、対象期間に就農等した者（相談等時期が当該年度内でないものを含む。）

※ 相談活動：電話・メール・面談・手紙・Eメール・相談会等